

手引き様式第4

会派要望活動報告書

令和 6年 8月 2日報告

編 纂 種 別	議 長	副議長	委員長	会派代表者		事務局長
議 員 研 修 (委員会・会派)						
回 覧						
報 告 者	____精華未来____会派代表 (氏名) 奥野弘佳					
標 題	____国への要望活動____について					
研 修 日 時	自 令和 6年 7月31日(水曜日)		13時30分から			
	至 令和 6年 7月31日(水曜日)		16時00分まで			
研 修 場 所	1 国土交通省 2 文部科学省					
主 催	精華町議会 精華未来					
参 加 者	森元 茂、森田喜久、岡本 篤、奥野弘佳					
内 容						
上記のとおり要望活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。 記 ○ 研修の目的(計画・事前の資料等) 1、国土交通大臣政務官、国土交通省都市局、文部科学省初等中等教育局への 要望書提出						

○ 活動報告書

・ 文部科学省

初等中等教育局学校情報基盤・教材課 G I G A 基盤企画係長 平川拓也

「自治体間の教育の格差が生じないように、I C T を効果的に活用した教育の推進、デジタル教科書や学習用ソフトの活用及び情報機器等の維持管理などの継続的な費用負担、さらに機器更新など I C T 環境整備に係る財政支援の継続・拡充について」

・ 国土交通省

都市局街路交通施設課街路交通施設企画室長 福元正武

都市局まちづくり推進課課長補佐（併）関西学術研究都市建設推進室 平野裕之

「京阪奈新線の延伸に向けた取組みについて」

「堀池川雨水路の整備について」

・ 国土交通大臣政務官 石橋林太郎

「京阪奈新線の延伸に向けた取組みについて」

「堀池川雨水路の整備について」

の要望書を提出した。

○ 要望書

別添参照

○ 所感

文部科学省、国土交通省に対して要望活動を行った際に、学校の I C T 化に向けた環境整備に係る地方財政措置についての具体的な補助金の種類や、今後の方向性についてと日本の都市交通システムの現状とまちづくりと公共交通システムの一体整備と新交通システムについての説明を受けました。今後も本町の抱える大きな課題や財政的な支援を国に対して、会派議員活動として本町の発展に寄与出来るよう力を合わせて活動していきます。

。

要 望 書

令和 6 年 7 月

京都府精華町議会
精華未来

要 望 書

平素は、京都府精華町議会の運営と本町行政の推進、並びに関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）の建設推進に対しまして、格別のご理解とご支援、ご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本町議会では、住民の代表機関として、その役割と責任を果たすため、より良いまちづくりの実現に努めているところであり、けいはんな学研都市の建設推進に関し、次の2点につきまして、要望いたします。

1. 京阪奈新線の延伸に向けた取り組みについて

学研都市は建設当初より母都市（京都・大阪・奈良）から中心部への鉄道乗り入れが課題であり、京阪奈新線延伸については、学研都市の概成に必要な不可欠な路線ですが、未だ事業化に向けての見通しが立っておりません。

そうした中で、学研都市の公共交通整備について、まずは学研都市京都府域にとっての望ましい地域公共交通の将来像を明らかにするべく、京都府の参画も得る中で、学研都市京都府域三市町、交通事業者が連携して、令和6年度に、学研都市京都府域の「地域公共交通計画」の策定に取り組んでいるところです。

つきましては、「けいはんな学研都市（京都府域）地域公共交通計画」、特に、京阪奈新線新祝園ルートの実現に向けた今後の各種取り組みについて、国におかれましては特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

2. 堀池川雨水路の整備について

本町では学研都市の中心クラスター精華・西木津地区の雨水を排除する公共下水道堀池川雨水路が未整備であり早期完成が懸案事項となっております。

未整備区間の堀池川雨水路につきましては、組合施行による土地区画整理事業区域内であり、土地区画整理事業の進捗に合わせた整備が求められています。

堀池川雨水路整備は、本地区の都市概成のために必要不可欠な事業であり、町では、「大規模雨水処理施設整備事業」による令和7年度から3箇年での完遂を目指し、交付申請の準備を進めているところです。

現在、交付申請にあたっての諸課題の整理を進めているところでございますが、課題解決に向けた道筋が立ち、交付申請の準備が整った折には、特段のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和6年7月31日

国土交通大臣 齊藤 鉄夫 様

精華町議会

精華未来 代表 奥野 弘佳

要 望 書

令和6年7月

京都府精華町議会

精華未来

要 望 書

平素は、京都府精華町議会の運営に対しまして、格別のご理解とご支援、ご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本町議会では、住民の代表機関として、その役割と責任を果たすため、より良いまちづくりの実現に努めているところです。

とりわけ、未来を担う子どもの健全育成は、いつの時代でも万国共通の願いであり、昭和43年に「こどもを守る町」を宣言した本町では、「教育のまちづくり」を一層推進することが町民の総意でもあります。

こうした中で、令和元年度に、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育むICT環境の実現に向けたGIGAスクール構想の取り組みが開始され、児童生徒1人1台端末及び通信ネットワーク等の整備が実現しました。

また、GIGAスクール構想の第2期を見据え、1人1台端末の着実な機器更新に向けて財政支援の継続を示していただいております、この間の国による先導的な取り組みに、改めて感謝申し上げます。

しかしながら、ICTを効果的に活用した教育の推進には、デジタル教科書や学習用ソフトウェア等の活用を進める必要があることに加え、情報機器等の維持管理や機器更新など、継続的な費用負担が必要となります。

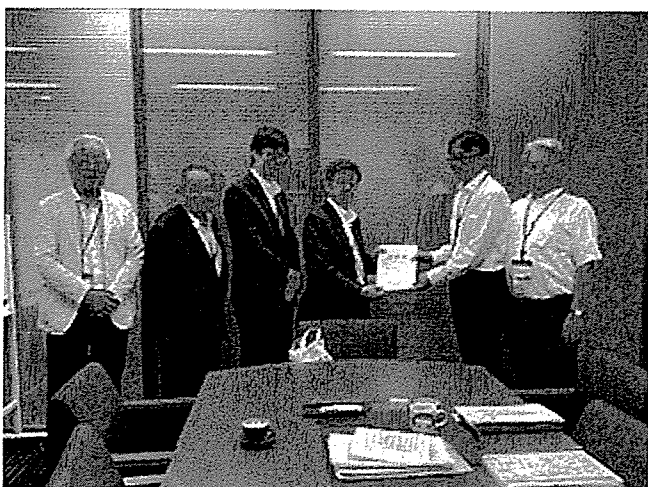
国におかれましては、自治体間により教育に関する格差が生じないように、ICT環境整備に係る財政支援の継続・拡充について、特段のご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年7月31日

文部科学大臣 盛山 正仁 様

京都府精華町議会

精華未来 代表 奥野 弘佳



国土交通省 都市局
街路交通施設課
街路交通施設企画室長
福元 正武

国土交通省 都市局
まちづくり推進課 課長補佐
(併) 関西文化学術研究都市建設推進室
平野 裕之



文部科学省 初等中等教育局
学校情報基盤・教材課
G I G A基盤企画係長
平川 拓也